

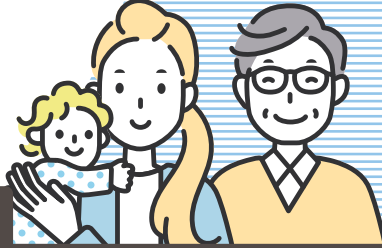
無料

だれでも
さんか
参加
できます！

参加者人数拡大！
各分科会
250名

ZOOM
ミーティング
ウェビナー

国際化市民 フォーラム in TOKYO



生活視点で考えるこれからの多文化共生

2023年2月4日(土曜日)

A 分科会 10:00-12:30

多文化共生をとらえなおす
～自立支援から包摂、社会の一員としての外国人へ～

B 分科会 14:30-17:00

外国ルーツの子どもたちが
自分らしく輝くために

C 分科会 14:30-17:00

みんなで創る多文化共生

主に1990年代より使われるようになった「多文化共生」という言葉ですが、多文化共生社会とはどのような社会なのでしょう？ 1992年1月に約25万人だった都内の外国人住民の数は、2022年1月には2.08倍の約52万人になりました。地域や職場、学校、飲食店などで外国人住民と出会うことが当たり前になった今、国際化市民フォーラム in TOKYOでは、皆さんと一緒に多文化共生について考えます。

申し込み
方法



左のQRコードまたは下記 URL より
お申込みください。
<https://forms.office.com/r/08qPc4fWVB>

2023年1月29日(日曜日) 締切

●定員となり次第、締め切らせていただきます

事務局・問合せ先
一般財団法人東京都つながり創生財団 多文化共生課
〒163-0808 新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル 8階
TEL: 03-6258-1237
URL: <https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/>

国際化市民フォーラム in TOKYO

生活視点で考えるこれからの多文化共生

A 分科会 10:00-12:30 ZOOM ウェビナー

多文化共生をとらえなおす

～自立支援から包摂、社会の一員としての外国人へ～

多文化共生社会とは「支援と自立」、「外国人と日本人」といった二極構成ではありません。これまでの外国人住民への対応は自立支援の色合いが濃い反面、すでに外国人は地域社会の一員としての現実があります。ふりかえって「言葉の壁、制度の壁、心の壁」は取り除かれたのか、当初の視点は有効なのか、多文化共生の変遷を見てきた方々の視点でお話いただき、今後の地域社会について考えるとともに午後の分科会につなげたいと思います。

山本 重幸 氏 ●司会進行
共住懇 代表

吉富 志津代 氏 ●パネリスト
武庫川女子大学文学部 教授
NPO 法人多言語センター FACIL 理事長

新居 みどり 氏 ●パネリスト
NPO 法人国際活動市民中心 コーディネーター

富田 莉莉 氏 ●パネリスト
一般財団法人町田文化・国際交流財団
町田国際交流センター センター長

ジギャン クマル タパ 氏 ●パネリスト
公益財団法人かながわ国際交流財団 職員

B 分科会 14:30-17:00 ZOOM ウェビナー

外国ルーツの子どもたちが 自分らしく輝くために

昨年度の国際化市民フォーラムB分科会では、外国ルーツの子どもたちをどう高校進学につなげるかを検討しました。そうして高校進学したものの将来活躍するためには解決しなければならない問題があります。色々な社会的な機構上の制約や障害を乗り越えて、一人の子どもが社会に出て活躍するためにはさまざまな人々の助けが必要です。今年度はそれぞれの立場から外国ルーツの子どもが自分らしく輝くために、何をすることが必要か考えたいと思います。

仁村 議子 氏 ●司会進行
NPO 法人 IWC 国際市民の会 副理事長

中山 真理子 氏 ●パネリスト
NPO 法人多文化子ども自立支援センター 代表理事

柴山 智帆 氏 ●パネリスト
NPO 法人 glolab 代表理事

角田 仁 氏 ●パネリスト
東京都立町田高等学校（定時制課程）主任教諭
文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザー

安里 ルイス 氏 ●パネリスト
味の素ファインテクノ株式会社 社員

C 分科会 14:30-17:00 ZOOM ミーティング

みんなで創る多文化共生

これまでの多文化共生は、外国人への支援が中心テーマでした。ただ、フォーラムを通じてみんなで話し合いを進めていく中で、外国人とその周りの日本人とがつながることが大切だと分かってきました。では、外国人に関心のない日本人にはどうつないだらよいのでしょうか。外国人も日本人も同じ地域住民ならば、むしろ地域からの視点で考えてみてはどうでしょうか。

そこで本分科会では、多文化共生を地域で試みる方々をお招きし、地域づくりの専門家とともに、みんなで創る多文化共生の可能性について話し合いたいと思います。

松井 和久 氏 ●司会進行
JICA 東京 国際協力推進員

米田 雅朗 氏 ●パネリスト
新宿区立大久保図書館 館長

楊 淳婷 氏 ●パネリスト
東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 特任助教

よぎ（プラニク・ヨゲンドラ）氏 ●パネリスト
元江戸川区議会議員、全日本インド人協会 会長
茨城県立土浦第一高等学校・附属中学校 副校長

アベベ サレシラシェ アマレ 氏 ●パネリスト
NPO 法人アディアババ・エチオピア協会 理事

山崎 亮 氏 ●コメンテーター
studio-L 代表、コミュニティデザイナー

竹上 恭子 氏 ●コメンテーター
三鷹市井の頭一丁目町会 会長

だれでも参加できます！

